

発行 弥生会  
事務 弥生会  
〒740 0012  
山口県岩国市  
元町1丁目  
1番17号201  
☎0827(30)5677  
FAX0827(30)5577  
http://iwakuni-yayoi.jimdo.com

# 季刊 やよい



## 30号の発行を祝う

岩国の明るい未来を創る会会長 原田俊一

岩国の明るい未来を願ひ、弥生会が発足して七年が経ちました。その間、弥生会の会員の皆様が続々と福田良彦市長との地域での交流会開催、独自の研修会開催、

AEDを市へ寄贈される等、女性ならではの視点に基づく活動を行なってこられたことに對し、深甚の敬意を表します。また、充実した『季刊やよい』を発行され、こ

の度、第三十号の記念号を発行されることに心からお喜びを申し上げます。「継続は力なり」と申します。継続にはその団体の和と意志の疎通が大事です。今後、市民の普遍的意見を行政に伝え、それを実現する組織として、弥生会と機関紙『季刊やよい』の更なる発展を期待いたします。

「ほのぼのと朝の光の照らす道 愛宕新街人は行き交う」

走っていました。大きな問題を抱える「ふるさと岩国」の憂慮すべき状況に、大きなもどかしさを感じていたこともそばで見えて分かっておりました。

## 八年前を振り返り思うこと

福田朋江

この度の「季刊やよい」第三十号記念号の発行を一会員として大変嬉しく思いますとともに、弥生会発足以来七年半の間、「岩国の明るい未来を創る会」の名の通り、

その実現に向けて様々な活動を展開してきた弥生会を誇りに思うところです。

その当時、主人は山口二区選出の衆議院議員であり、和木町から周防大島町、そして下松市までを預かる責任ある立場として東奔西

走っていました。大きな問題を抱える「ふるさと岩国」の憂慮すべき状況に、大きなもどかしさを感じていたこともそばで見えて分かっておりました。

「三度なる春見んための力沸く」

さて、主人が市長に就任してからもつづぐ八年が経とうとしてい

秋晴れの心地よい日がつづいております。「季刊やよい」も十一月発行のこの号で、三十号となりました。これもひとえに皆さまのご協力の賜と感謝を申し上げます。

その当時、主人は山口二区選出の衆議院議員であり、和木町から周防大島町、そして下松市までを預かる責任ある立場として東奔西

走っていました。大きな問題を抱える「ふるさと岩国」の憂慮すべき状況に、大きなもどかしさを感じていたこともそばで見えて分かっておりました。

「三度なる春見んための力沸く」

## 友の文次々届く

秋日和

会長 二宮信子



秋晴れの心地よい日がつづいております。「季刊やよい」も十一月発行のこの号で、三十号となりました。これもひとえに皆さまのご協力の賜と感謝を申し上げます。

その当時、主人は山口二区選出の衆議院議員であり、和木町から周防大島町、そして下松市までを預かる責任ある立場として東奔西

走っていました。大きな問題を抱える「ふるさと岩国」の憂慮すべき状況に、大きなもどかしさを感じていたこともそばで見えて分かっておりました。

「三度なる春見んための力沸く」

今回は、三十号を記念いたしまして「皆さまの現在」を取り上げたいと企画いたしました。

その当時、主人は山口二区選出の衆議院議員であり、和木町から周防大島町、そして下松市までを預かる責任ある立場として東奔西

走っていました。大きな問題を抱える「ふるさと岩国」の憂慮すべき状況に、大きなもどかしさを感じていたこともそばで見えて分かっておりました。

「三度なる春見んための力沸く」

「寄稿をお願い申し上げましたところ、ほんとうに沢山の方からご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

「災害の多き国土よ菊薫る」

先ごろ行われましたラグビーW杯イングランド大会で日本代表チームが一次リーグで敗れはしまし

「三度なる春見んための力沸く」